

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 しが盲ろう者友の会

1 事業の成果

- ・派遣事業では、通訳・介助者を派遣することで、引き続きコロナの影響で制限があるなかでも開催されるイベントへの参加や、必要な医療受診、他サービス利用、買物等、盲ろう者の生活の質の維持・向上を支えることができた。
- ・生活訓練事業では、盲ろう者同士及び支援者と共に様々な活動を行うことで、コミュニケーション力や社会生活能力が向上し自信につながっている。
- ・相談支援事業では、課題を明確にして気持ちを整理することで、心の安定や生活の質の向上につながっている。
- ・養成講座では、11名（開講時13名）の受講生に対しカリキュラムに合わせて講座を開講。11名が講座を修了し全員から次年度登録の申請があった。
- ・資質向上研修では、講義形式だけではなくグループワーク等をおこなうことで、登録者同士で日頃の活動を振り返り、学びあうことができた。
- ・啓発事業では、昨年に続き行政がおこなう啓発の機会が少なく、新規の盲ろう者やその家族への啓発の機会が作りにくい状況が続いていた。
- ・社会参加支援事業では、友の会活動等で地域活動へ参加し、社会の一員として人と出会い交流する中で喜びと自信を得て、少しずつ豊かな社会生活に繋がっている。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施	実施場所	対象者数	支出額 (千円)
通訳・介助者派遣事業	盲ろう者通訳・介助者を派遣	4月～	滋賀県内	21	8,647
盲ろう者生活訓練事業	盲ろう者の生活訓練を行う	4月～	友の会事務所他	21	4,846
盲ろう者相談支援事業	盲ろう者の生活相談を受ける	4月～	滋賀県内	21	931
盲ろう者通訳・介助者養成講座	盲ろう者通訳・介助者の養成	4月～	滋賀県内	受講生 11	944
通訳・介助者資質向上研修	通訳・介助者の研修	4月～	滋賀県内	118	842
盲ろう者啓発事業	県民対象に盲ろう者への理解を深め、仲間を増やす	4月～	滋賀県内	県民	223
社会参加支援事業	地域活動に参加。盲ろう者同士の交流を深める	4月～	滋賀県内	21	582

*引き続き、事業全体に新型コロナウイルス感染拡大の影響があった。生活訓練参加に制限を設けた。社会生活に関わる派遣事業は続けていたものの件数の回復は鈍いものだった。

令和3(2021)年度 盲ろう者通訳・介助者派遣事業実績報告

1. 事業利用盲ろう者、通訳・介助登録者実態

地域	盲ろう者数	通訳・介助者数	地域内訳市町()内は通訳介助登録者数の昨年比
湖西	2	2	高島市(昨年比±0)
大津	0	34	大津市(昨年比+1)
湖南	5	22	草津市・守山市・栗東市・野洲市(昨年比-2)
甲賀	2	14	甲賀市・湖南市(昨年比+1)
湖東	4	8	彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町(昨年比+1)
東近江	4	29	東近江市・近江八幡市・日野町・竜王町(昨年比+1)
湖北	4	8	米原市・長浜市(昨年比±0)
県外		1	+1
合計	21	118	うち 実働(年1回以上派遣): 53人、休止: 20人

2. 事業実績

通訳・介助内容	県委託事業		自主事業	
	件数	時間数	件数	時間数
生活訓練	492	672.5	0	0.0
コミュニケーション学習	44	90.5	0	0.0
医療	235	406.5	0	0.0
健康	2	2.0	0	0.0
教育	0	0.0	5	8.5
労働	16	17.0	4	8.0
福祉サービスに係る	20	41.0	6	8.0
聴覚障害者に係る	25	81.5	6	8.0
社会生活	190	446.0	8	35.0
友の会活動	216	607.5	66	173.5
その他のコミュニケーション支援	346	848.5	4	16.0
全国盲ろう者大会	0	0.0		
合計	1586	3213.0	99	257.0

*自主事業=団体等からの依頼

3. 派遣の動向

- ・総派遣件数は1,685件、3470.0時間。新型コロナウイルス感染拡大の混乱が大きかった昨年度と比べて、412件、884.0時間の増加となった。ワクチン接種や感染予防対策についての知識の広まりによる行事などの開催は増えてきたが、コロナ以前と比較すると約1,000件、約2200時間の減少と回復したとは言えない状況である。
- ・コミュニケーション学習(手話・指点字・音声・IT)を新規に開催し、昨年度課題となっていた会議場面やパソコン学習等に対応できる通訳者の養成につながっている。
- ・ワクチン接種や感染予防策が進み、控えていた医療受診の派遣件数が増加した。
- ・盲ろう者全国大会が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。(今年度も中止決定済み)

4. 派遣事業の成果

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で体力や生活の質の低下がみられていた盲ろう者も、通訳・介助者派遣を利用して医療・福祉サービスを受けることで改善がみられるようになった。

5. 課題

- ・会議場面等手話・触手話・音声通訳可能な人材の不足は続いており、更なる養成が必要である。
- ・男性の盲ろう者が多いにもかかわらず登録通訳・介助者の男女比が1:5、また、ろうの通訳・介助者は全体の約20%で、同性介助やろうの通訳・介助者への要望に答えられていない。
- ・盲ろう者の高齢化による体力低下とともに、介助のあり方等の検討が必要となってきている。

令和3（2021）年度盲ろう者生活訓練事業報告

○事業の目的

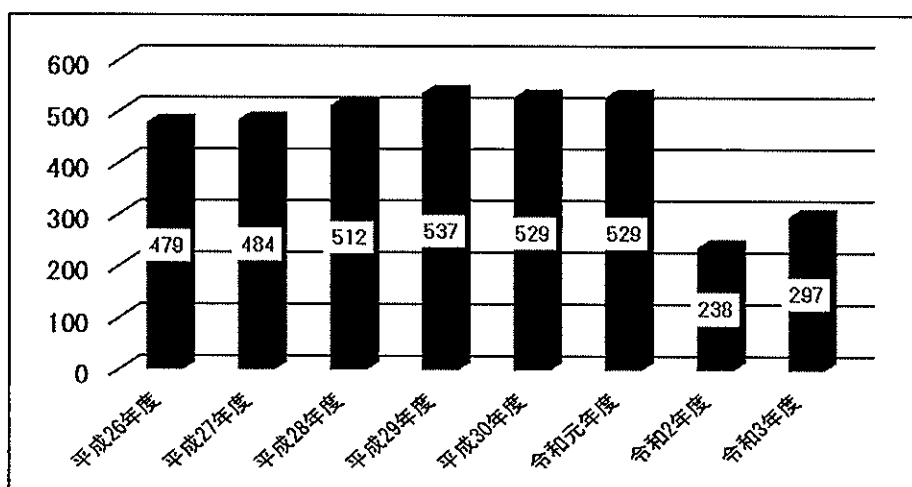
一人では外出やコミュニケーションが困難な盲ろう者が、社会参加を進めるために必要なコミュニケーション訓練や作業を行う。

※月別延べ参加

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
盲ろう	27	28	27	25	23	19	22	22	33	25	27	19	297
介助者	38	33	36	33	35	35	39	36	40	33	33	25	416

盲ろう者の参加者人数

平成26年度	479 人
平成27年度	484 人
平成28年度	512 人
平成29年度	537 人
平成30年度	529 人
令和元年度	529 人
令和2年度	238 人
令和3年度	297 人



1. 総括

昨年に引き続きコロナ感染予防のため1回につき盲ろう者3名、介助者3名、合わせて6名まで、盲ろう者の参加をひと月に3回までという制限を設けた。参加者のいない日もある一方で6名を超える日があり、広さ確保のために安土、能登川のコミセンを借り対応した。

北部地域、甲賀地域、湖西地域も状況を見ながら再開した。

2. 生活訓練

昨年と同様に感染予防として料理、味噌作りは休止している。再開については、リーダーとたち担当の岡本長忠さんと相談していききたい。盲ろうサロンを月、水、金とひと月に3回開いたが、参加のない日もあり毎月1回、曜日を変え開催することにした。

グローからの招待で有名な方の講演を聞いたり、和太鼓の演奏を楽しんでいたが、コロナ感染の不安や場所が遠い等でキャンセルする人もあり残念だった。グローのイベントの開催日が、生活訓練と重なる事もあった。今後は、調整をお願いしていききたい。

お花見で天気の良い日は、外で食べられたのは良かった。盲ろうサロンで要望のあったウォーキングを取り入れた。

3. 今後の課題・提案

参加者が多い時は、安土コミセン等を借りて広い場所を確保していききたい。

作業所などへ通所のない盲ろう者は、生活訓練参加回数の限度を月4回までに変更し、家にこもらないようにする。

お花見は、去年散りかけていたので早めにしたが今年はずぼみだった。天候が読みきれず難しい。

令和3（2021）年度 盲ろう者相談支援事業報告

コロナ禍の状態が2年越しに続いている中、情報の入手、人との対話、出会い、人が生きていく最小限度の自由と権利が奪われた盲ろう者には大きな打撃となっている。このような状況が続く今日、盲ろう者個々が持つ不安や人と出会えない寂しさを上手く表現できない虚しさを感じるFAXが友の会に寄せられている。

盲ろう者とのちょっとした会話やその表情から「貴重な訴え」が伺える瞬間は、改めて盲ろう者の心理に寄り添う支援の必要性を実感している。

これ等の課題に向けてコミュニケーション支援の訪問を定期的に行っている。盲ろう者自身にとって慣れた自宅へ訪問する事は、①盲ろう者の心が開かれる。②家族間のコミュニケーションができない盲ろう者は人と通じ合う会話が一番求めている。訪問によって盲ろう者にも茶の間の会話が成り立つ。③盲ろう者の日常の不便さ→「どんな時？どうすればいいか？」など細かく会話することで、生活に合った要求が表現される。などの効果が得られる。

2021年度 相談件数実績内容

相談内容	本人	関係機関	関係機関との調整	相談事業に付随して
地域生活	140	176	250	287
社会生活	47	49	52	102
コミュニケーション(家族)	27	36	13	43
医療・保健	28	23	40	55
就労	12	4	4	6
教育	0	0	0	0
その他 (人権・スポーツ・趣味等)	16	13	12	18
合計	270	301	371	511
総合計	1,453			

相談件数については事務局各担当者の日常的相談支援及びPC支援や通訳・介助者の方々から盲ろう者への気づきの提案をいただき一緒に考えた内容なども含まれる。

〈参考〉 2021年度の相談で特徴的だった内容について以下のように整理した。

- ・地域生活⇒介護事業所による介護サービス調整
- ・社会生活⇒県及び市福祉課主催の協議会や会議
- ・コミュニケーション(家族)⇒友の会及び全国盲ろう者協会等のアンケート調査
- ・医療・保健⇒各地域の3回のワクチン接種に関する事
- ・その他(人権・スポーツ・趣味等)⇒パソコン教室及び手芸班活動などに関する事

☆地域生活=日常生活の不便性、対人関係、地域のつながり、ろうあ協会活動などに関連する事。

これ等のすべてにコミュニケーションの困難性が伴っている事を含む。

☆社会生活=他団体や関係機関との交流、講座及び講習会等の協力、障害者関係の会議の出席、全国盲ろう者協会や他府県の盲ろう者友の会に関係する事など。

令和3（2021）年度盲ろう者通訳・介助者養成講座事業報告

県広報「プラスワン」等で広く県民に受講を呼びかけの協力を頂いた。男性4名女性9名で開講。残念ながら諸事情により2名が途中辞退。修了、新規登録された方は男性3名女性8名計11名となった。

講座では、盲ろう者とのコミュニケーションに必要な手話や手書きの学習、移動介助に必要な電車の乗降・エレベーターでの介助の仕方などの学習を行い、また、通訳・介助者の倫理についても学習し、盲ろう者の自己決定を支援することの大切さについて学んだ。

1. 実施要項

目的 盲ろう者の福祉に理解と熱意を有する者に対して、盲ろう者のコミュニケーション手段・移動介助等について、知識と技術の習得を図ることにより、盲ろう者の社会参加と自立を促進し、もって盲ろう者福祉の推進を図る。

開催日程 2021年9月30日(木)～2022年2月24日(木)

26回(講義20,5時間 実技38時間 計58,5時間)

開催場所 滋賀県立聴覚障害者センター、滋賀県立男女共同参画センター 他

講座内容 盲ろう者概論、盲ろう障害の理解、コミュニケーション、移動介助の基本、盲ろう者の生活と支援、盲ろう者通訳・介助者の在り方、観察実習 等

受講人数 13人 修了者 11人 / 新登録者 11人

2020年度から続きコロナ禍の中、皆さんの協力のもと全日程を無事終えることができた。今年度は盲ろう者を講師として招き、盲ろう者と直接交流することができた。講師の話から盲ろう者の生活や困難さを知り、交流の中でコミュニケーションが通じたことで、登録後の活動への不安が少し解消され、支援していこうという気持ちを高めることができたのではないと思う。

移動介助学習時には、近江鉄道が電車の使用を快く承諾していただき、また近江鉄道の職員4名も参加された。

修了式では、岡田理事長が挨拶ののち修了証書を渡した。

交付式では、『滋賀県盲ろう者通訳・介助者の証』を滋賀県障害福祉課の長谷川課長より授与され、長谷川課長、北村課長補佐、奥田主事より激励のお言葉を頂いた。

2. 今後の課題

盲ろう者が居住する地域の、通訳・介助者の増加とコミュニケーションの多様性を持つ通訳・介助者の養成に取り組まなければならない。2021年度は受講生が皆健聴者。滋賀県はろうベースの盲ろう者の活動が多いため、やはり同じ手話文化を持つ聴覚障害者の方の盲ろう者通訳・介助者の増加を目標とする。

令和3（2021）年度盲ろう者通訳・介助者資質向上研修 報告

- | | | |
|-------|-----|---------------------------|
| 【第1回】 | 日 時 | 2021年4月17日（土）13：30～15：30 |
| | 場 所 | 守山駅前コミュニティホール 第1ホール |
| | 講 師 | 中西 久美子 氏 |
| | テーマ | 意思疎通支援者としてのあり方 |
| | 参加者 | 33名 |
| 【第2回】 | 日 時 | 2021年7月3日（土）10：00～12：00 |
| | 場 所 | 守山駅前コミュニティホール 第1ホール |
| | 講 師 | 山本 廣美 氏 山元 明美 氏 |
| | テーマ | より良い通訳を目指して |
| | 参加者 | 27名 |
| 【第3回】 | 日 時 | 2021年11月4日（木）10：00～12：00 |
| | 場 所 | 滋賀県立聴覚障害者センター |
| | 講 師 | 北原 照代 氏 |
| | テーマ | 健康で活動していくために |
| | 参加者 | 23名 |
| 【第4回】 | 日 時 | 2021年12月12日（日）10：00～12：00 |
| | 場 所 | 守山駅前コミュニティホール 第1ホール |
| | 講 師 | 魚津 浩美 氏 |
| | テーマ | その人らしい暮らしを支えるために |
| | 参加者 | 24名 |
| 【第5回】 | 日 時 | 2022年2月20日（日）10：00～12：00 |
| | 場 所 | 能登川コミュニティセンター 別館研修室 |
| | 講 師 | 事務局 |
| | テーマ | 事例検討・意見交換会 |
| | 参加者 | 18名 |

コロナ禍の中、手指消毒、マスク・フェイスシールド、机椅子、物品の消毒などの感染防止対策への協力を頂き、5回の研修を無事に終えることができた。登録研修は1年に2回以上の参加を必須としているが、コロナ禍の現状を鑑みて、今年度は参加の判断を個人にゆだねたため、達成できない方もいた。研修資料は参加者のみに配布。アンケート結果は登録者全員に送付している。今後も同じ方法で取り組む予定。

- | | | |
|---------|-----|---------------------------|
| *事務職員研修 | 日 時 | 2021年12月16日（木）13：00～15：00 |
| | 場 所 | 浅小井事務所 |
| | 講 師 | 西田 昌弘 氏 |
| | テーマ | 成年後見制度とは |
| | 参加者 | 8名 |

コミュニケーション学習

手話・触手話 講師 山本 廣美 氏

*①②は手話学習が概ね3年未満の方対象。③は手話通訳者、手話学習中の方対象。

④は聴覚障害者の方対象。

- | | | | |
|------|--------------------|-------------|--------|
| ①日 時 | 5月8日(土) 15日(土) 各日 | 10:00~12:00 | |
| 場 所 | 安土コミュニティセンター | 参加者 | 各日 4名 |
| ②日 時 | 5月22日(土) 29日(土) 各日 | 10:00~12:00 | |
| 場 所 | 安土コミュニティセンター | 参加者 | 各日 4名 |
| ③日 時 | 7月10日(土) 17日(土) 各日 | 10:00~12:00 | |
| 場 所 | 滋賀県立男女共同参画センター | 参加者 | 各日 12名 |
| ④日 時 | 7月24日(土) 31日(土) 各日 | 10:00~12:00 | |
| 場 所 | コミュニティセンター やす | 参加者 | 各日 5名 |

音 声 講師 岡本 佳子 氏 黒川 早苗 氏
 日 時 6月11日(金) 18日(金) 25日(金)
 場 所 安土コミュニティセンター 参加者 各日 22名

点字・指点字 ①講師 脇野 協子 氏(県立視覚障害者センター) 岡本 克司 氏
 日 時 10月1日(金) 10月15日(金)
 内 容 点字 参加者 各日 9名
 ②講師 岡本 克司 氏
 日 時 10月1日(金) 10月15日(金)
 内 容 指点字 参加者 各日 9名

IT機器 ①講師 森口 晃寛 氏(県立視覚障害者センター)
 日 時 11月8日(月) 13:00~15:00
 内 容 BMS勉強会 参加者・対象者 事務局8名
 ②意見交換会
 日 時 2022年2月24日(木) 14:00~16:00
 場 所 コミュニティセンター やす
 内 容 盲ろう者に伝えやすい通訳の仕方とは 参加者 7名
 ③講師 森口 晃寛 氏(県立視覚障害者センター)
 日 時 2022年3月28日(金) 13:00~15:00
 場 所 キラリエ草津
 内 容 ITサポーターと共に 意見交換会 参加者 6名

コミュニケーション学習は盲ろう者通訳・介助者資質向上研修事業の一環として2021年度から開始。手話・触手話、音声、点字・指点字の学習は全日程参加を申込み条件としたが、登録者から「1回、不参加になるが参加したい」等相談が相次いだ。2022年度は参加条件を見直す必要があると言える。

IT学習については、現時点で盲ろう者のパソコン学習の通訳を担っている方を対象に行った。視覚障害者センターITサポーターの支援が円滑に行えるための通訳力アップと共に、将来は、盲ろう者のITに関する緊急のニーズに対処できることを目指していく。

令和3（2021）年度盲ろう者啓発事業報告

県民を対象に盲ろう者の存在を知ってもらい、障害の特性や困りごとなどを理解してもらうために、啓発活動を行う予定だったがコロナウイルス感染拡大防止のため中止。友の会とまだつながっていない盲ろう者、またその家族に対して、友の会の存在と滋賀県盲ろう者支援センターの制度の啓発活動も残念ながら取り組むことができなかった。

教育機関、近江八幡手話サークル、東近江市からの講師依頼があった。盲ろう者の話を聞いていただき、短時間、少人数ではあるが盲ろう者とのコミュニケーション体験を行った。盲ろう者の日常生活の困難や工夫、コロナ禍の生活の不安等も知ってもらうことができた。滋賀県と近江八幡市の学校支援メニューは中止となった。

1. 実施事項

- 2021年 7月16日（金）滋賀県立聴覚障害者センター新人研修 岡田昌也
- 2021年 11月11日（木）草津市 光泉カトリック中学高等学校 岡田昌也、岡本克司
- 2021年 11月19日（金）近江八幡市新規職員研修 岡田昌也
- 2021年 11月25日（木）・26日（金）近江八幡商業高校 岡本長忠
- 2021年 11月26日（金）東近江市手話体験講座 川瀬喜久
- 2021年 12月18日（日）近江八幡市手話サークル連絡協議会 野中美智子（川瀬富美子欠席）

2. 成果

中学校、高等学校への訪問時には手のひら書きの体験を行った。コミュニケーションが通じることは生徒・盲ろう者互いの喜びになったと思う。

盲ろうの障害があっても、自分で出来ることや余暇を楽しむ術を持っていることなど周知することができた。

3. 課題

行事等が中止となり、イベント参加時の啓発ができなかった。盲ろう者は触れて移動介助や通訳を行うため、三密の一つである密接が避けられない。感染対策には十分注意しているが、心配な要素でもある。主催者側にも協力を得ながら進めていく。

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 しが盲ろう者友の会

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
正会員会費	294,000	
賛助会員会費	36,000	330,000
2.受取寄付金		
寄附	286,743	
缶募金	76,048	362,791
3.受取助成金等		
助成金収入	516,000	516,000
4.事業収益		
社会参加促進事業	16,670,000	
市町通訳・介助派遣協力	761,460	17,431,460
5.その他収益		
利息	89	
販売収入	111,895	
雑収益、収入	28,338	
預り金(源泉)	44,692	185,014
経常収益計	18,825,265	18,825,265
II 経常費用		
1.事業費		
(1)委託事業費		
①人件費		
派遣報償費、事務費		
通訳・介助活動費	4,845,672	
通訳・介助交通費	776,130	
生活訓練活動費	1,379,574	
生活訓練交通費	260,810	
事務員活動費	3,826,812	
事務員交通費	764,936	
保険・福利費		
健康診断	61,600	
通訳・介助者保険	30,774	
講師料	488,630	
人件費計	12,434,938	
②その他経費		
消耗品費	266,922	
車両費	278,806	
旅費交通費	61,634	
水道光熱費	283,743	
通信運搬費	700,860	
リース料	173,989	
賃借料	1,514,070	
手数料	138,231	
印刷製本費	49,500	
通訳料(点字)		
点訳料	10,000	
通介者	87,550	
備品購入費	377,689	
修繕費	54,600	
委託金精算	237,468	
その他経費計	4,235,062	
委託事業費計	16,670,000	

(2)社会参加支援事業費			
①人件費			
市町通訳・介助派遣・交通費			
自主派遣活動費	385,500		
自主派遣交通費	66,870		
事務員活動費	100,015		
事務員交通費	29,150		
人件費計	581,535		
②その他経費			
その他経費計	0		
社会参加支援事業費計	581,535		
事業費計		17,251,535	
2. 管理費			
消耗品費	5,447		
リース料	3,551		
通信運搬費	42,672		
水道光熱費	5,791		
通訳料			
点訳料	40,000		
通介者	16,500		
手数料	2,821		
印刷製本費	44,000		
諸会費	21,000		
賃借料	35,570		
備品購入費	516,000		
旅費	29,580		
火災損害保険	27,400		
預り金(源泉)	50,080		
寄附金	2,617		
減価償却費	22,687		
その他の経費	22,551		
管理費計		888,267	
経常費用計			18,139,802
当期経常増減額			685,463
Ⅲ 経常外収益			
過年度損益修正益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
過年度損益修正損			0
経常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			685,463
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			685,463
前期繰越正味財産額			14,369,172
次期繰越正味財産額			15,054,635

令和3年度 会計貸借対照表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 しが言う者友の会

科 目	金額 (単位:円)		
	小計	中計	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金 現金手許有高	0		
普通預金(郵便局)振替口座	3,439,731		
普通預金(郵便局)友の会	2,195,715		
普通預金(郵便局)ヘレン	3,431,409		
普通預金(滋賀BK八幡駅前)	3,361,352		
定期預金(郵便局 積立)	589,487		
未収金	63,000		
流動資産合計		13,080,694	
2 固定資産			
点字プリンター(H19.1)	1		
草刈り機(H19.4)	1		
耕運機(H19.4)	1		
エアコン(H19.10)	1		
エアコン(H19.10)	1		
車両(H23.10)	1		
車両(H28.12)	1		
ワイヤレススピーカー	24,570		
土地	5,000,000		
固定資産合計		5,024,577	
資産合計			18,105,271
II 負債の部			
流動負債			
事業費未払い金	3,050,636		
預かり金	0		
負債の部合計		3,050,636	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	14,369,172		
当期正味財産増減額	685,463		
正味財産合計		15,054,635	
負債および正味財産合計			18,105,271

令和3年度 会計財産目録

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 しが盲ろう者友の会

科 目	金額 (単位:円)		
	小計	中計	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金 現金手許有高	0		
普通預金(郵便局)振替口座	3,439,731		
普通預金(郵便局)友の会	2,195,715		
普通預金(郵便局)ヘレン	3,431,409		
普通預金(滋賀BK八幡駅前)	3,361,352		
定期預金(郵便局 積立)	589,487		
未収金	63,000		
流動資産合計		13,080,694	
2 固定資産			
点字プリンター(H19.1)	1		
草刈り機(H19.4)	1		
耕運機(H19.4)	1		
エアコン(H19.10)	1		
エアコン(H19.10)	1		
車両(H23.10)	1		
車両(H28.12)	1		
ワイヤレススピーカー	24,570		
土地	5,000,000		
固定資産合計		5,024,577	
資産合計			18,105,271
II 負債の部			
流動負債			
事業費未払い金	3,050,636		
預かり金	0		
負債の部合計		3,050,636	
正味財産合計			15,054,635